ナーシングケアコネクトジャーナル　投稿規定

1．本雑誌の主旨

ナーシングケアコネクトジャーナル（英名：Nursing Care Connect Journal, 略称 NCCJ）は、看護分野における実践的な知見と経験を共有・発信する看護事例報告専門の学術誌である。看護実践の現場における貴重な経験、患者・家族ケアのアプローチ、多職種との共同などを広く発信することで、看護師やそこに関わる多職種の知の共有を促進し、看護の質向上に寄与することを目的としている。

2．投稿者の資格

筆頭著者は、日本における看護師免許および准看護師免許を持つものとする。共著者に関しては、特に制限を設けないが、筆頭著者を含め記載できる著者は 10 名までとする。

著者は、①その報告事例の実践、（事例研究においては）研究の構想およびデザイン、データ収集、データ分析および解釈に実質的に寄与し、②論文の作成または重要な知的内容に関わる批判的校閲に関与し、③出版原稿の最終承認行い、④研究のすべての面に対して説明責任があることに同意したものとする。著者資格を満たさない者は「謝辞」の項に列挙する。

3．投稿の内容

本雑誌は、看護分野における事例報告のみの投稿を受け付ける。ただし、未発表のものに限る（学会発表を除く）。

ここでいう事例報告とは、単一もしくは 2‐3 名の患者事例の経過や臨床的所見、診断、看護介入、結果（有害事象を含む）、フォローアップを、倫理的な考察を加えて記述したものを指す。ある看護実践の効果を測定するために事前に計画された介入や、介入の有無による患者・家族に対する効果を比較検討したものは含めない。ただし、保健事業等におけるある地域や市民（特定かつ限定された個人を想定しないもの）を対象とした実践的な取り組みも可とする.

4．倫理的配慮

本雑誌への投稿に当たって、患者のプライバシー保護に十分配慮する。事例報告では、原則倫理審査は不要とされるが、所属機関のルールや方針に従うこと。患者のプライバシー保護については、「症例報告を含む医学論文および学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針（ https://doi.org/10.11164/jjsps.40.7_App8）」に従うこと。

5．投稿の受付および採否

1）投稿原稿は随時受け付ける。

2）投稿原稿の受付日は、オンライン投稿フォーム上の受付日とする。ただし、投稿原稿に不備がある場合は、返却修正を求め再投稿された日を受付日とする。

3）原稿の採否は、ダブルブラインド（投稿者、査読者ともにお互いに誰かを知ることができな

Presented by Medical*Online

い）による査読を経て決定する。必要に応じて、原稿の修正を求める。
4）査読に対する著者校正の際の、指摘部分以外の加筆は原則認めない。
5）採用が決定したのち、最終原稿を提出する。

6. 著作権

掲載された論文の著作権は、本編集部に属するものとする。本誌の論文を雑誌、書籍等に引用する場合は、必要最小限の範囲とし、必要な出典を明記すること。

7. 投稿にかかる費用

掲載料は原則として 10,000 円とする。査読が終了し、採用が決定した時点で発生する。支払い方法は、論文の採択後に編集部より通知する。掲載論文が制限頁数を超過する場合には、 超過頁にかかる費用を著者から徴収することがある。査読過程および不採択となった原稿については、料金は発生しない。

8. 査読者の提案

投稿者は、査読者の候補を提案することができる。投稿する論文の関連分野に精通した査読者を 1－3 名まで選出し、オンライン投稿フォームの入力欄に記載すること。

9. 原稿執筆方法

別に定める「ナーシングケアコネクトジャーナル執筆要綱」を参照すること。

附則

この規定は、令和 6 年 5 月 1 日から施行する。
この規定は、令和 6 年 5 月 27 日に改定し施行する。
この規定は、令和 7 年 7 月 22 日に改定し施行する。

Presented by Medical*Online

ナーシングケアコネクトジャーナル　執筆要綱

1．原稿の書式

本文は、Microsoft 社の Word により作成する。作成にあたり、下記書式設定を用いる。

1）A4 縦書き

2）日本語は MS 明朝、英数字は Times New Roman（10.5 ポイント）

3）Word レイアウトは任意のもので構わない

4）図表（写真は除く）は、Excel または PowerPoint を用いて作成する。投稿時は、Excel で作成したものは Excel ファイル（.xlsx など）のまま、PowerPoint で作成したものや写真は、JPEG 形式で投稿すること。動画や GIF は対応していない。

作成にあたっては、必要に応じてテンプレートも使用すること。

2．原稿の構成

1）原稿の構成は、論文タイトル（50 文字以内）、抄録（300 文字以内）、キーワード（3〜5 個）、本文、引用文献、図の一覧および説明、表の一覧とする。図表は、本文原稿内にはその名前を一覧に示すのみで、本文には貼り付けずに、「表 1」のように通し番号を付けて別のファイルで提出すること。文中に「(表 1)」といった形で、掲載する場所を明記する。

2）必要に応じて、英文の論文タイトル（20 words 以内）、抄録（400 words 以内）を付けてもよい。著者が英語の母語話者でない場合は、英文校閲を受けることを推奨する。英文校閲を受けておらず、編集部で校閲が必要と判断された原稿は、編集部により英文校閲を手配する場合がある。その場合は、英文校閲に関わる費用は著者負担とする。

3）抄録は、構造化された形式とし、「目的」「患者紹介」「看護の実際」「考察」「結論」の見出しを付ける。英文抄録も同様に「Objective」「Patient presentation / Case presentation」「Nursing practice / Intervention」「Discussion」「Conclusion」の見出しを付ける。見出し名は、原稿の内容に応じて多少の変更を加えてもよい。

4）投稿原稿本文の文字数は、7,000 文字以内とする（論文タイトル、抄録、引用文献、図表を含まない)。

5）本文の構成は、「はじめに」「倫理的配慮」「事例紹介」「看護の実際」「考察」「結論」「引用文献」とする。それぞれ、下記内容をもとに記載すること

①はじめに：関連文献を引用しながら、その事例の背景を短く要約し、論文の目的を記載する

②倫理的配慮：プライバシー保護の方法、患者への説明と同意の取得有無および方法、倫理審査を受けた場合は、倫理審査委員会の名称と承認番号

③事例紹介：匿名化された患者情報、主訴や主な症状、医学、家族、心理社会的背景、過去の介入とその結果、関連する併存疾患、臨床検査所見、経過など

④看護の実際：看護師による事例のアセスメント内容、アセスメントの根拠、看護介入とその経過および結果

Presented by Medical*Online

⑤考察：この事例におけるよかった点と限界、関連論文、結論に関する科学的根拠に関する考察など
⑥結論：この症例から得た主要な知見、読者へのメッセージ

3．原稿の文体
1）原稿は日本語とし、句読点は「､」「｡」もしくは「,」「.」のいずれかで統一する。
2）本文および図表中に用いる数字や欧文は、原則として半角文字を使用する。
3）検査値や長さ、重さを表記する際は、国際単位（SI）に則り、数字と単位は半角スペースを空けて表記する（例：150 cm、30 mL など）。
※ただし、摂氏温度（℃）や、角度（°）パーセンテージ（%）は、例外としてスペースは不要
4）見出しは、章：Ⅰ.・Ⅱ.・Ⅲ.…、節：1.・2.・3.…、項：1）・2）・3）…、項の下：(1)・(2)・(3) …の順で数字を記載する。

4．文献
引用文献は、本文中に「(著者名，発行年時)」で表記する。文献リストでは、著者名をアルファベット順で列記する。ただし、共著者は 3 名まで表記し、それ以降は「他（英文の場合は et al.)」と表記する。外国人著者の名前は、「姓（フルスペル） 名（イニシャル）.」で表記する。
例：Doe J. Smith J. など
引用文献の表記は、以下に従う。
1）雑誌掲載論文
・著者名（発行年次）：論文タイトル，掲載雑誌名，号もしくは巻（号)，最初のページ数– 最後のページ数.
2）単行本
・著者名（発行年次）：書名（版数)，出版社名，発行地.
・著者名（発行年次）：論文の表題，編者名，書名（版数)，ページ数，出版社名，発行地.
3）翻訳書
・原著者名（原書の発行年次）／訳者名（翻訳書の発行年次）：翻訳書の書名（版数)， 出版社名，発行地.
オンライン版で，DOI のない場合
・著者名（年号）：論文タイトル，収載誌名，巻（号)，開始ページ－終了ページ，URL
オンライン版で，DOI のある場合
・著者名（年号）：論文タイトル，収載誌名，巻（号)，開始ページ－終了ページ，doi: DOI 番号
4）Web ページ
サイト名：タイトル，URL: http://....（閲覧日：年月日）

5．図表
図表は合わせて 6 個までとする。ただし Excel の表に関しては、ひとつの Excel ファイルにシー

Presented by Medical*Online

トを分けて複数作成しても構わない。

図の名前は本文原稿に「図の一覧および説明」として、それぞれの図の説明とともに列挙する。また、表の名前も同様に「表の一覧」として列挙し、表の説明は Excel ファイル内に含めることとする。図表は、それだけで内容が理解できるように注釈等をつけるよう工夫する。

6. 利益相反

著者全員について，投稿時から遡って過去 1 年以内での発表内容に関係する企業・組織または団体との利益相反を「利益相反の開示」として投稿フォームに入力する。

報告すべき利益相反は、以下の通りである。

・役員・顧問職 100 万円以上
・株利益 100 万円以上、全株式の 5%以上
・特許権使用料など 100 万円以上
・講演料など 50 万円以上
・原稿料など 100 万円以上
・企業、団体等からの研究費 200 万円以上
・奨学寄附金（奨励寄附金） 200 万円以上
・その他報酬 10 万円以上
・寄附講座の所属
・その他個人的利害関係が生じるような状態

7. 投稿方法

原稿の投稿は、専用の投稿フォーム（URL）より行う。必要事項を入力し、投稿用原稿、図表ファイルを添付する。また、必要に応じて編集部宛のカバーレターを添付してもよい（書式不問)。

査読後の再投稿の場合も同じ投稿フォームより再投稿を行う。ただし、査読コメントを受領した際に知らされた原稿番号を入力すること。

附則

この規定は、令和 6 年 5 月 1 日から施行する。
この規定は、令和 6 年 8 月 8 日に改定し施行する。

Presented by Medical*Online